RAZER OROCHI™ マスターガイド (PC)

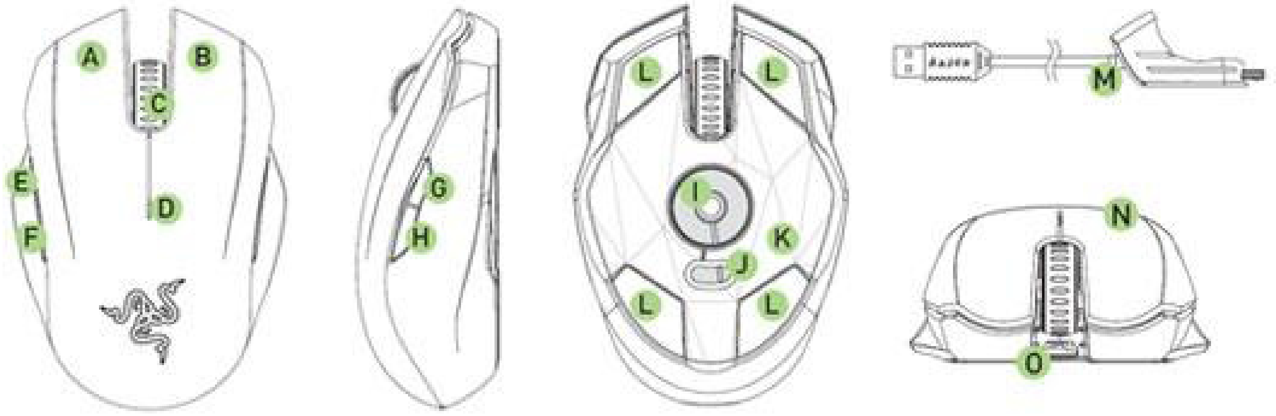
Razer Orochi は、その小ささと最新テクノロジーでモバイルゲーミングマウスの基準を新しいレベルに引き上げます。ゲーミンググレードレーザーセンサーと有線 / 無線両機能のデュアルモードにより、Razer Orochi は ゲーム用に最適化された Bluetooth 技術による持ち運びやすさと有線モードによる使いやすさの両方を兼ね備えたゲーミンググレード性能を提供します。

携帯可能なゲーミングが可能になりました。

内容

1. 主な特長
2. パッケージの内容 / システム要件
3. インストール / 登録 / 技術サポート
4. Razer Orochi の設定
5. Razer Orochi を使う
6. 詳細な設定ガイド
7. 安全とメンテナンス
8. 法律

1. 主な特長



A　マウスボタン 1 – クリック

B　マウスボタン 2 – メニュー

C　マウスボタン 3 - スクロールホイールとボタン

D　電池 / ペアリングインジケータ

E　マウスボタン 5 – 進む

F　マウスボタン 4 – 戻る

G　マウスボタン 6 – 既定で無効に設定

H　マウスボタン 7 – 既定で無効に設定

I　Razer Precision　™　3G レーザーセンサー

J　電源 on/off スイッチ

K　ゲーム用に最適化された Bluetooth 接続

L　Ultraslick ™　マウスソール

M　1000Hz Ultrapolling　™／ 1ms 反応時間（有線モード）

N　Razer Synapse　™　オンボードメモリ

O　ケーブルのマイクロ USB 側コネクタジャック（無線モード）

2. パッケージの内容

- Razer Orochi　Bluetooth レーザーゲーミングマウス
- 単 3 乾電池 2 個
- USB ケーブル

- トラベル用ケース
- 実物証明書
- クイックスタートガイド
- マスターガイド

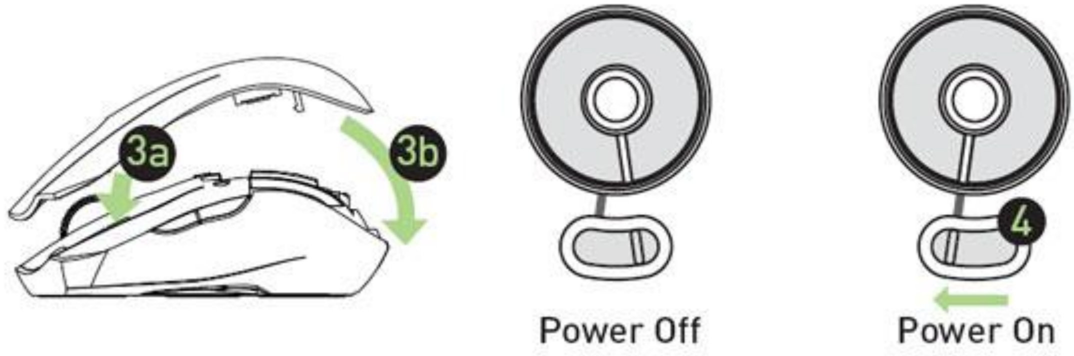
3. システム要件

- USB ポートを持ち Bluetooth が使用可能なパソコン
- Windows XP / x64 / Vista / Vista64
- インターネット接続（ドライバインストール用）
- 35MB のハードディスク空き容量

4. インストール / 登録 / 技術サポート

[無線モード]

1. Razer Orochi の上カバーを取り外します。
2. 書いてある指示に従い Razer Orochi に電池を挿入します。



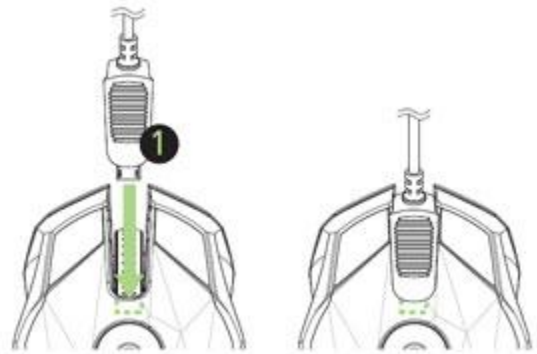
3. Razer Orochi の上カバーを取り付けます。しっかりはまっていることを確認します。

4. Razer Orochi のスイッチをオンにします。

5. コンピュータ上で Bluetooth が有効になっていることを確認します。OS の指示に従って Bluetooth デバイスを追加します。 ペアリングプロセスを有効にする為には、Razer Orochi の 4 つのサイドボタンを同時に 5 秒間押し下げてください。Razer Orochi のインジケータが青く点滅し、ペアリングプロセス中であることを示します。

6. ペアリング処理が終了したら、インジケータの点滅が停止します。これで、Razer Orochi は無線モードで使えるようになりました。

[有線モード]



1. ケーブルのマイクロ USB 側コネクタを Razer Orochi に接続します。

2. ケーブルの USB 側コネクタコンピュータの USB ポートに差し込みます。これで Razer Orochi を高性能有線ゲーミングマウスとして使えるようになりました。

Windows XP / x64 / Vista / Vista64 へのインストール方法

1： ドライバインストーラを http://www.razersupport.com/ からダウンロードします。

2： ファイルを解凍して、インストーラを起動します。

3： Razer Orochi のセットアップ画面が表示されます。[次へ] をクリックします。

4： ライセンス契約を読みます。契約のすべての条項に同意する場合は、[はい] をクリックします。

5： 情報を入力します。[次へ] をクリックします。

6： インストール設定を選択します。[次へ] をクリックします。

7： すべての情報が正しいことを確認したら、INSTALL をクリックして、インストールを開始します。

8： インストール終了時には、FINISH をクリックしてインストールを完了します。

9： 画面上の指示に従い、コンピュータを再起動します。[はい] をクリックします。

Razer Orochi の登録

www.razerzone.com/registration/ からオンライン製品登録を行なってください。

登録による特典：

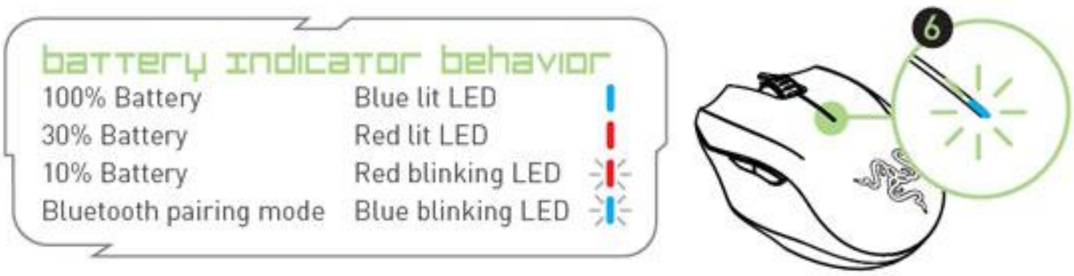
- 2 年間の製造元限定保証
- www.razerzonesupport.com **での無料のオンライン技術サポート。**

電池容量 / ペアリングインジケータの挙動

Razer Orochi には、電池の状態を示す電池インジケータが上カバーにあります。ペアリングモード時には、インジケータは青で点滅します。

電池容量インジケータの挙動

- 容量 100%
  青 LED 点灯 (■)
- 容量 30%
  赤 LED 点灯 (■)
- 容量 10%
  赤 LED 点滅 (■)
- Bluetooth® ペアリングモード
  青 LED 点滅 (■)



メモ：

- ライトを消すことによって、バッテリーの消耗を抑えることができます。
- 所定の性能· 持続時間を発揮させるため、高品質バッテリーを使用することをお勧めします。
- 電池の消耗を抑えるため、使用しないときは Orochi のスイッチを切ることをお勧めします。
- スクロールホイールの LED 点灯は、標準で OFF になっております。点灯させる場合は「Lighting and Maintenance」タブをクリックして設定を変更してください

5. RAZER OROCHI の設定

RAZER SYNAPSE™ オンボード機能

すべての設定は選択したプロファイルに保存され、Razer Configurator がインストールされていないパソコンでも適用することができます。（注記：On-The-Fly Sensitivity には、Razer Orochi ドライバがインストールされてる必要があります）

Razer Orochi の設定は、有線モードでのみ実行できます。無線モードでは設定できません.

ASSIGN BUTTONS タブ

Assign Buttons タブでは、それぞれのボタンにさまざまな機能を好みに合わせて割り当てられます。

以下の機能が設定できます。

Click：
通常のマウスクリックを行ないます。
Menu：
状況依存のメニューを開きます。

Universal Scrolling：
指定したボタンをクリックして押したままにすることでユニバーサルスクロールが実行されます。Razer Orochi をドラッグすると、マウスの移動する方向にスクロールします。

Double Click：
指定したボタンで、ダブルクリックを実行します。

Macro：
ボタン機能またはキーがリストされていない場合、またはボタンにマクロを割り当てたい場合、ドロップダウンメニューから「Macro」を選択します。さらに、保存されているすべてのマクロはサブドロップダウンメニューに表示され、「Macro」オプションの上にマウスを持ってくるだけで簡単に選択できます。

Profile Settings：

その場でプロファイルを切り替え、瞬時にお好みのマウス設定をすべてロードできます。「**Profile Settings** をドロップダウンメニューから選択すると、切り替えたいプロファイルを表示するサブメニューが表示されます

Forward：

Windows Explorer / Internet Explorer の「進む」コマンドを割り当てます。

Backward：

Windows Explorer / Internet Explorer の「戻る」コマンドを割り当てます。

On-The-Fly Sensitivity：

感度設定を、設定メニューを入力せずにその場で変更することを可能にします。

Single Key：
キーボードのキーを実行します。

Scroll Up：
現在表示中のページを上にスクロールします。

Scroll Down：
現在表示中のページを下にスクロールします。

Button Off：
指定したボタンの機能を無効にします。

ADJUST PERFORMANCE タブ

1. **現在の感度**

   感度とは、マウスの実際の動きに対して、画面上のカーソルをどれだけ動かすかの関係です。感度値を高く設定するとマウスの動きが小さくてすみ、低くすると大きくなります。

ADJUST PERFORMANCE タブでは、Razer Orochi の現在の感度設定をドットパーインチ（DPI）で表しており、矢印をスライダーに沿って動かすだけで、簡単に125DPI 単位で 4000DPI まで調整することができます。*注記：Razer Orochi の無線モードでの最大感度は 2000DPI に制限されています。*

調整をさらに柔軟にするには、「**Enable independent X-Y sensitivity**」オプションを選択して X 方向と Y 方向の矢印をスライダーに沿って動かすこともできます。*注記：個別 X-Y 感度機能は、無線モードでは利用できません*

その場で変更を行なったときに On-The-Fly Sensitivity インジケータをスクリーン上に表示させるには、「**Enable On-The-Fly sensitivity on-screen display**」オプションを選択します。

2. **加速**

   加速により、マウスの動かすスピードを変えることで、実際のマウスの動きに対する画面上のカーソルの動きの比率を変更することができます。加速の値を高く設定することで、比率も高くなります。「Enable Acceleration ボックスを選択して、矢印をスライダーに沿って動かすことで、加速を実行できます。

3. **ポーリングレート**

ポーリングレートにより、パソコンがマウスからデータを取得する間隔が決定されます。値が高いほど、間隔が短くなりますので、遅延も少なくなります。個別のポーリングレートボタンをクリックすることで、125Hz（8ms）、500Hz（2ms）と1000Hz（2ms）に切り替えることができます。*注記：この機能は有線モードでのみ有効です。無線モードでは Razer Orochi は 125Hz のみで動作します。*

MANAGE PROFILES タブ

感度、ボタン割り当てやマクロなど様々なマウス設定を使いやすいようにひとつのグループとしてプロファイルに保存することができます。

Manage Profiles タブでは、実行するアプリケーションに合わせてカスタム化したプロファイルを作ったり、実行したりできます。

a. **Profile：**プロファイル番号を表します
b. **Profile Name：**任意のプロファイル名を入力するには、このフィールドをダブルクリックします。
c. **Application：**ディレクトリブラウザを開くには、このフィールドをダブルクリックします。プロファイルを関連付けるプログラムの実行ファイルを選択します。
d. **Auto Switch：**現在のプロファイルを On-The-Fly プロファイルをして実行するには、このオプションを選択します。

Razer Orochi では、Razer Synapse を使って 5 つのプロファイルを作成し、保存できます。さらに、ハードディスク上にはいくつでもプロファイルを保存することができ、それを Razer Orochi へインポートして戻すこともできます。ただし Razer Orochi 上では、一度に 5 つまでのプロファイルしか保存できません。

Manage Profile タブの中で右クリックすることで、追加のコマンドのリストに簡単にアクセスできます。

MANAGE MACROS タブ

マクロとは、特定の順番とタイミングで実行されるキーストロークの順番です。ボタンひとつで、コマンド列を実行し、ゲームプレイを最適化します。マクロは最大長 8 文字で、メディア機能などのその他の動作を割り当てることができます。

注記：Razer Orochi のマクロの最小遅延は、有線モードで 50ms、無線モードで 100ms です。

LIGHTING AND MAINTAINENCE タブ

Lighting

Razer Orochi のスクロールボタンと電池容量インジケータのオン / オフができます。

メモ :

- ライトを消すことによって、バッテリーの消耗を抑えることができます。

Maintenance
「**Check for Updates**」ボタンをクリックするだけで Razer ドライバとファームウェアソフトウェアが更新できます。これで、最新のドライバ / ファームウェアがダウンロードできる www.razersupport.com に接続します。

6. RAZER OROCHI を使う

感度ステージを設定する
感度ステージは、その場で切り替えられるプリセットされた感度値です。感度ステージを切り替えることで、好みの感度に瞬時に変更することができるということです。

感度ステージをプリセットするには：

1. Razer Configurator をロードして「**Adjust Performance**」 タブをクリックします。
2. 「**Sensitivity Stage**」ボタンをクリックします。Sensitivity Stage Settings ポップアップボックスが表示されます。
3. 必要な感度ステージの番号を選択します。
4. プリセットしたいステージをクリックして、スライダーの下の矢印を使って調整します。

5. 終了したら「**Apply**」をクリックします。別の感度ステージに切り替えるには、好みのボタンに Sensitivity Stage Up と Sensitivity Stage Down 機能を割り当てます。

マクロの作成

A. Razer Configurator をロードして「Manage Macros」タブをクリックします。
B. マクロの作成を開始するには「Record」をクリックします。
C. 必要なキーストロークの順番をタイプし、記録を停止するには「Stop」をクリックします。
D. 追加のオプションにアクセスするには、記録されたキーストロークを右クリックします。

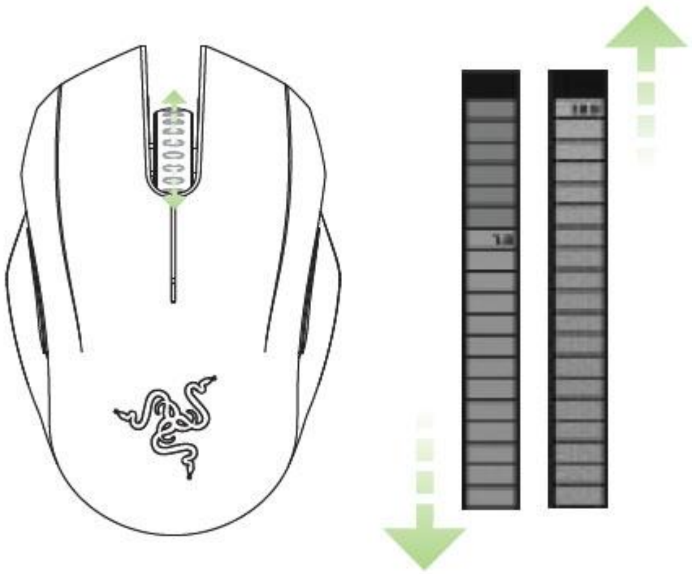
E.　「Advanced」ボタンをクリックすることで、追加コマンドを挿入することもできます。

F.　終了したら「Apply」をクリックします。

On-The-Fly Sensitivity

On-The-Fly Sensitivity とは、ゲーム中でも感度を微調節することを可能にする機能です。On-The-Fly Sensitivity がボタンに割り当てられている場合、そのボタンを押しな

がらスクロールホイールをまわすことで画面の右下にバーを表示させます。この機能により、動的に感度設定を調整できますが、ドライバがインストールされている場合のみアクセスできます。



注記：On-The-Fly Sensitivity の画面表示は、有線モードでのみ有効です。

7.　安全とメンテナンス

安全ガイドライン

マウスの使用時に、最大限の安全を保障するため、以下のガイドラインに従うことを推奨します。

1. マウスのレーザー光を直接見たり、光線を他の人の目に向けたりしてはいけません。レーザー光は裸眼では見えなく、常に放射されています。
2. もしマウスの操作で問題があり、トラブルシューティングで解決できない場合は、デバイスを取り外し、Razer ホットラインに連絡をするか、www.razerzone.com でサポートを依頼してください。どのような状況でも、ご自身でサービスや修理を行なわないでください。

3. マウスの分解（補償の適用外になってしまいます）、ご自身でサービスを行なう、問題のある状態で操作することなどは絶対にしないでください。

4. マウスを、液体、湿気、または水分などに触れないようにしてください。マウスは指定した温度範囲である、0˚C（32˚F）から 40˚C（104˚F）以内で操作してください。この範囲外の温度で操作した場合、適温範囲に温度が安定するまでデバイスを取り外して、電源をオフにしておきます。

電池に関する警告

注意：間違った種類の電池と入れ替えた場合、爆発や怪我の可能性があります。電池を開ける、切断する、または伝導性物質（金属）、水分、液体、火または熱に晒さないでください。結果として電池が漏出または爆発を起こし、怪我をする可能性があります。使用済み、漏出または破損した電池は、製造元の指示および地域の法令に従い廃棄してください。漏出、変色または変形した電池（リチウムポリマー充電池）を使用および充電しないでください。違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。アルカリ電池を充電しないでください。充電地を長期間放電または使用しないで置いておかないでください。電池の寿命は使用状況により変わります。電池を交換するときは、すべてを一度に交換し、古い電池を新しい電池と混ぜて使用しないでください。デバイスを長期間使用しない場合、漏出を防ぐために電池を取り出し、涼しい乾燥した子供の手が届かない室温の場所に保管してください。

クラス 1M レーザー製品

国際規格および安全性。不可視のレーザー放射：光学機器により直接見ないでください。国際規格 IEC 60825-1 Ed 2:2007、クラス 1M 不可視レーザー製品に準拠しているクラス 1M レーザー製品で、21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。ただしデビエーションは Laser Notice No. 50 に準拠しています (2007年6月24日) 。

レーザー製品の安全性と取り扱いガイドライン

レーザー光を目の方に向けないでください。クラス 1M レーザー製品では、光学機器（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）でレーザー出力を 100 mm 以内の距離で目視すると目に障害を起こす可能性があります。

快適性

マウスを快適に使用するためのヒントです。研究によると、長時間の同じ動きの繰り返し、コンピュータ周辺機器の不適切な位置、不適切な体位、そして悪い癖などは身体的な快適性を損ない、神経、腱や筋肉の障害につながる可能性があります。以下のガイドラインにしたがって、マウスを快適に使用して、怪我を防いでください。

1. キーボードとモニタを正面に置き、マウスをその横に置きます。肘は体の横のあまり遠くない位置になるようにし、簡単にマウスに届くようにします。
2. 椅子とテーブルの高さを調節し、キーボードとマウスが肘よりも低い位置になるようにします。
3. 足はしっかりと支えのある場所に置き、姿勢を正し、肩の力を抜きます。
4. ゲーム中は、手首の力を抜きまっすぐにしておきます。手で同じ動作を繰り返す場合は、手を曲げたり、伸ばしたり、ひねったりするような姿勢はできるだけ避けます。
5. 手首を堅い面に長時間乗せないようにします。Razer のジェルが充填された eXactRest™ などの手首サポートで、ゲーム中の手首をサポートします。
6. ゲーム中の繰り返しや、厄介な操作を最小限にするためにお好みのゲーミングスタイルにマウスのボタンをカスタマイズします。
7. マウスが、快適に手に収まることを確認します。
8. 長時間同じ姿勢で座っていないようにします。立ち上がり、デスクから離れて、腕、肩、首と脚を伸ばすような運動をします。
9. マウスの使用中に手、手首、肘、肩、首、または背中に、痛み、麻痺、またはしびれのような身体的に不快適さを感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

メンテナンスと使用

Razer Orochi は人間の裸眼では見えないトラッキングビームを感知するためのレーザーセンサーが装備されています。Razer Orochi を最適な状態に保つ通常のメンテナンスは少ししかありません。月に一度、マウスを USB ポートから取り外して、Razer Orochi の下面にあるレンズを柔らかな布か綿棒などで清掃することを推奨します。少量の温水で湿らせることは大丈夫ですが、石鹸や強い洗剤などは使わないでください。

最適な動きやコントロールを得るには、Razer の最高のマウスパッドの使用を推奨します。特定のパッドは、脚部に過剰な磨耗を生じさせ、恒常的な手入れと最終的には交換が必要となってしまいます。

Razer Orochi のセンサーは、Razer のマウスパッドで最適に働くように「調整」されています。これは Razer Orochi が Razer のマウスパッドで、読み込みとトラッキングが最適に行なわれるということを、広範囲にわたって、センサーのテストをしたということです。Everglide™ などのその他のメーカーの高級マウスパッドなども同じような良い結果が得られます。

8. 法律

版権情報

©2009 Razer USA Ltd. All Rights Reserved.ここに記載される Razer™、Razer™ の三頭ヘビのロゴ、変形文字の Razer 社名ロゴ、Orochi™ とその他の商標は、Razer USA Ltd および子会社または関連会社の所有物で、米国またはその他の国で登録されています。その他すべての登録商標は、それぞれの企業の所有物です。実際の製品は、写真とは異なる場合があります。

Razer™ は、本ソフトウェア、マニュアルまたはヘルプファイルの記載内容に関し誤りがあるとしても、責任は一切負わないものとします。ここに記載されている情報は、予告なく変更する場合があります。

Razer™ は、本マニュアルとソフトウェアで特許、特許申請、商標、版権、企業秘密またはその他の知的所有権およびその他の製品に関する権利と本マニュアルとソフトウェ

アに関する権利があります。Razer™ により書面のライセンス契約で提供された場合を除き、本マニュアルの取得は、登録されているかどうかにかかわらず、これら特許、商標、版権またはその他の知的所有権に対するライセンスを供与するものではありません。特許出願中。

ソフトウェアライセンス契約（「契約」）
Razer™ は、本ライセンス契約に含まれている以下の条項すべてに合意した場合にのみ、このソフトウェアのライセンスを許諾します。これは、お客様（個人のエンドユーザー、法人、またはその他すべての団体）と Razer™ の間の正式な契約となります。ソフトウェアをインストール、アップロード、コピー、または使用することで、この契約の条項および条件に拘束されることを許諾したとみなします。この契約の条項に同意できない場合は、ソフトウェアをインストールせずに、遅延なくソフトウェアパッケージとこの製品に含まれるすべての品目をオリジナルのパッケージのまま、購入時に発行された領収書と共にお送りいただくと、全額を返金します。

ライセンスの許諾
Razer™ は、ライセンスを販売ではなく供与した、同封のソフトウェアプログラム（「ソフトウェア」）を購入された Razer™ と共に 1 台のコンピュータで使用するための非独占で取り消し可能なライセンスを付与します。その他の権利は何も付与しません。ソフトウェアは、コンピュータにインストールされた時点（コンピュータの恒久的または一時的なメモリにロードすることも含むが限定されない）で使用されているとみなします。バックアップの目的でのみ、自身の使用のためにソフトウェアを 1 部コピーすることができます。バックアップのコピーには、すべての版権とその他の情報を Razer™ が提供したソフトウェアと同様に含めなければいけません。内部配布を行なうためだけにソフトウェアをネットワークサーバへインストールすることは、ソフトウェアの配布を受けるネットワーク上のコンピュータすべてでそれぞれソフトウェアパッケージまたは同様の専用のライセンスを購入した場合にのみ許可されます。

制限

Razer™ は、ソフトウェアの所有権を保持します。法律で許可されている場合を除き、ライセンス供与されているソフトウェアの逆コンパイル、逆アッセンブル、リバースエンジニアリング、または変更を直接または間接的に行なってはなりません。ソフトウェアを、ネットワーク上（上記に記載されている場合を除く）または電子的にどのような方法でも送信してはなりません。ソフトウェアは、それを含む Razer™ 製品をすべてのソフトウェアアップデートを含み、ソフトウェアのコピーを譲渡者が保持せずに、被譲渡者がこのライセンスの条項と条件に従うことを合意する場合を除き、直接または間接的に譲渡してはいけません。本契約の規定に違反した場合、ソフトウェアの使用権は自動的に終結し、ソフトウェアのすべてのコピーは Razer™ に返却されるか、破棄されなければいけません。

責任限定

この契約に規定する保証は、他のすべての保証に取って代わるものであり、保証不履行に対するあなたの救済手段は、ここに規定のものに明示的に限定されます。Razer™ は、商品性に対する暗黙の保証、特定目的に対する適合性、付属文書、ソフトウェア（パッチやアップデートを含む）とハードウェアに関してサードパーティーの権利の不侵害、その他、法律により認められる範囲で、すべての保証を明示的に否認します。Razer™ のサプライヤー、ディーラー、エージェント、または従業員の誰も、保証内容のいかなる修正、延長、変更をしたり、製品またはサービス、利益損失、情報またはデータの遺失、またはここに規定の保証の対象となる製品およびソフトウェアの流通、販売、再販、使用、または使用できないことに起因するいかなるその他特別、間接、結果として起こるまたは偶発的な損害を、置き換える権限を与えられていません。Razer™ は、特別、偶発的、間接的または必然の障害に対していかなる責任も負いません。

製品またはサービスの調達のコスト

誤解を避けるために、Razer™ は、調達のためのコストに対して、障害が要求した場合を除いて、どのような責任も負いません。また、Razer™ は、保証されている製品に対して実際に支払われた金額を超える調達のコストにはどのような責任も負いません。

上に掲げた保証の限定または偶発的、間接的、特別、または間接的な損害の賠償を許さない法域がある場合には、上述の限定または除外は適用されません。また、上述の限定は、人身傷害に対する責任が適用法により要求されている場合にあっては、適用されません。

米国政府による制限

ソフトウェアは、米国政府に対して規制および制限された権利で供給されます。米国政府による仕様、コピーまたは公開に関しては、48
C.F.R. 12.212（1995 年 9 月）および FAR セクション 52-227-14 と 52-227-19 r
DFARS セクション 52-227-7013 ©(1) (ii)、とその改訂版で使われている用語である「商業コンピュータソフトウェア」および「商業コンピュータソフトウェアドキュメント」で構成される 48 C.F.R. 2.101（1995 年 10 月）に記載された制限に従います。48 C.F.R. 12.512 および 48 C.F.R. 227-7202-1 から 27-7204-4（1995 年 6 月）、またはその改定規則に適応するため、本ソフトウェアはここに記載する条項と条件に従う米国政府のユーザーに対して提供されます。

9. FCC 適合宣言 / WEEE 情報

FCC 適合宣言

本装置は、 FCC 規則第 15 項の定めるクラス B のデジタル機器に関する規制条件に基づいてテストされ、これに適合することが確認されています。こうした規制の目的は、住宅内で本装置を設置し操作する場合の有害な干渉に対して、適度な保護を提供することにあります。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、または放射するため、取扱説明書に従って設置し使用されない場合は、ラジオまたはテレビなどの電波に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が起きないという保証はありません。本装置が、電源のオン / オフにより、ラジオおよびテレビの電波に干渉を引き起こしていると判断された場合、次の中からいくつかの対処を試みるようお勧めします。

受信アンテナの向きや位置を変える。

本装置と受信機の距離を離す。
受信機の接続されている回路とは別のコンセントに本装置を接続する。
販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する。

詳しい情報は、www.razerzone.com のオンラインヘルプシステムを参照してください。

FCC に関する注意

準拠に責任のある者が明示的に承認していない変更または改造を行うと、使用者はこの装置を操作する権限を失うことがあります。
本装置は FCC 規則の第 15 項に準拠しています。
本装置の操作は、次の 2 つの条件を前提としています。
(1) 本装置が有害な妨害を引き起す可能性はありません。
(2) 本装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある妨害を含む、あらゆる妨害に対応する必要があります。
本装置およびそのアンテナは、他のアンテナまたは伝送器と伴に設置したり、作動させたりしてはいけません。